



# 既存の空調システムに接続。 大規模空間に低濃度二酸化塩素を供給。

空間へ供給される外気等に二酸化塩素を安定的に供給することで、大規模空間(全体に)で低濃度二酸化塩素を供給するシステムです。

空調システムを利用したアクティブ型空間除菌。

ウイルス・細菌等はフィルターでキャッチ(内部処理)を行うパッシブ型だけでは不足。ウイルス・細菌をその場で酸化(構造変化)するアクティブ型も必要。



## 二酸化塩素とは?

二酸化塩素は、ウイルス・細菌等の除去に働く特異な分子構造をもちます。エレクトローラ3000は、空調システムを利用して二酸化塩素ガスを室内空間へ供給。二酸化塩素濃度をコントロールし、浮遊ウイルス・細菌・悪臭物質を除去します。



## 二酸化塩素の安全性

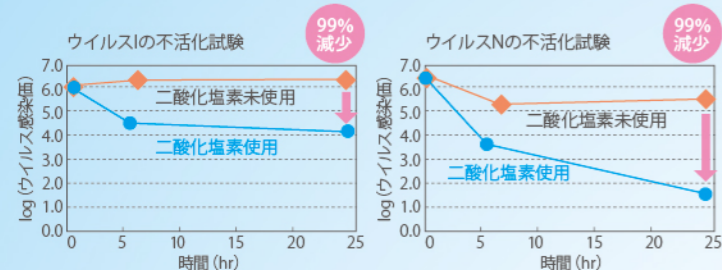
二酸化塩素は、食品添加物や浄水処理など身近なところで活躍しています。



電解の力で効率よく二酸化塩素を発生。

低濃度二酸化塩素の力で、タバコなどの悪臭やウイルス・菌を除去。  
(0.01~0.02ppm)

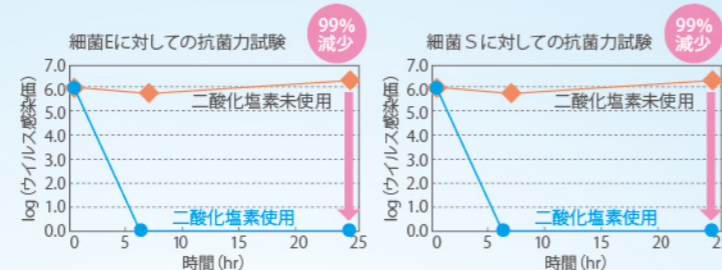
## 二酸化塩素ガスのウイルス不活化試験



〈試験方法〉

シャーレ(Φ60mm)にウイルス浮遊液を2ml入れ、試料とした。検体(二酸化塩素発生顆粒剤 1g)と試料を密閉容器(容量:9ℓ)内に設置し、規定時間後のウイルス感染価を測定した。

## 二酸化塩素ガスの抗菌力試験



〈試験方法〉

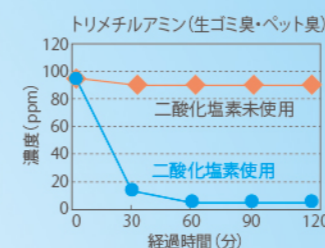
高圧蒸気滅菌(121℃、15分)したガーゼ(約5cm×5cm、12枚重ね)に細菌菌液を滴下し試料とした。検体(二酸化塩素発生顆粒剤 2g)と試料を密閉容器(容量:9ℓ)内に設置し、規定時間後、試料を取り出し生菌数を測定した。

## 二酸化塩素ガスの脱臭・消臭

○試料・臭気物質 ①品名:二酸化塩素発生顆粒剤(Clo²) ②数量:5g ③臭気物質 トリメチルアミン、メチルメルカプタン

①トリメチルアミン  
濃度97.7ppm、検知管:ガステック 3M、180

Clo²	残留濃度 (ppm)			
	30分	60分	90分	120分
未使用	91	91	91	91
使用	18	4	4	4

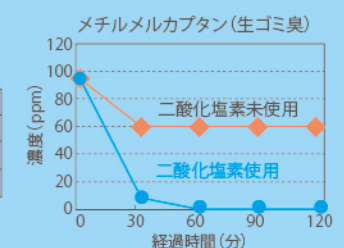


〈試験方法〉

- ①アルミガスパックに試料を入れ密閉する
- ②ガスパックに各種臭気ガスを5リットル封入する
- ③恒温恒湿機内にて湿度25℃の条件で保管し、時間経過毎に検知管にて濃度測定実施

②メチルメルカプタン  
濃度98.4ppm、検知管:ガステック 71

Clo²	残留濃度 (ppm)			
	30分	60分	90分	120分
未使用	60	60	60	60
使用	6	0	0	0



技術協力会社データ